

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道11号 坂出・丸亀バイパス
事業主体	四国地方整備局

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	(事業全体)費用便益比(B/C)=4.0(経済的純現在価値(B-C)=3,600億円、経済的内部収益率(EIRR)=7.9%) (残事業)費用便益比(B/C)=2.3(経済的純現在価値(B-C)=44億円、経済的内部収益率(EIRR)=10.5%)

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):31,630千人・時間/年 渋滞損失削減時間:88千人・時間/年(28,939千人・時間/年 28,851千人・時間/年) 区間b(現道拡幅区間)について 並行区間等(現道拡幅区間)の渋滞損失時間:134千人・時間/年 並行区間等(現道拡幅区間)の渋滞損失削減率:約9割削減
		現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	
		新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	特急停車駅:JR坂出駅(1日平均利用者数:約12,000人/日) 平成14年値
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	農林水産業を主体とする地域:高瀬町(高瀬茶) 主な出荷先等:高松市、静岡県、徳島県等
		現道等における、総重量25tの車両もしくはIS0規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

政策目標	指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更）	指標チェックの根拠	
1. 活力	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		中心市街地内で行う事業である	
		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		地域高規格道路の位置づけあり	
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	日常活動圏中心都市間：丸亀市・坂出市（丸亀・坂出二次生活圏）～観音寺市（三豊二次生活圏）
		現道等における交通不能区間を解消する	
		現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	日常活動圏中心都市：丸亀市・坂出市（丸亀・坂出二次生活圏）
	個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
主要な観光地へのアクセス向上が期待される		主要観光施設：金刀比羅宮（約316万人/年） 平成16年値	
新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		公共公益施設：県立丸亀競技場（約19万人/年） 平成16年値	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	

政策目標	指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更）	指標チェックの根拠
2.暮らし	無電柱化による美しい町並みの形成	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り
	安全で安心できるくらしの確保	市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する
3.安全	安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる
	災害への備え	当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される
		近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する
4.環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのSPM排出削減率
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある
		その他、環境や景観上の効果が期待される
5.その他	他のアジェンダとの関係	関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり
		他機関との連携プログラムに位置づけられている
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる

三次医療施設：県立中央病院救命救急センター、香川大学医学部付属病院、国立療養所香川小児病院
アクセス向上が見込まれる地域：善通寺市北部、多度津町 等

香川県地域防災計画において第一次緊急輸送路に指定

CO2排出削減量：500t/年

評価対象区間（現道拡幅区間）
排出削減量：0.5t/年、排出削減率：約7%削減

評価対象区間（現道拡幅区間）
排出削減量：0.02t/年、排出削減率：約3%削減

地域住民に対して実施したアンケート調査結果をもとに原田高架橋の色彩を決定するなど、景観に配慮した道路整備を推進

関連する大規模道路事業：一般国道319号善通寺バイパス
関連性：善通寺ICに直結する善通寺バイパスと一体的に整備することで高速道路ネットワークを含めた広域連携の強化が図られる。

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B Pの別
一般国道11号	坂出・丸亀 バイパス	L = 20.4 km	二次改築	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
14,700 ~ 61,200	4	四国地方整備局

費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成17年度		
単純合計	527億円	210億円	737億円
うち残事業分	34億円	8億円	42億円
基準年における 現在価値 (C)	1,114億円	92億円	1,206億円
うち残事業分	31億円	4億円	35億円

便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成17年度			
供用年	平成21年度			
単年便益 (初年便益)	250億円	16億円	5億円	272億円
基準年における 現在価値 (B)	4,429億円	287億円	91億円	4,806億円
うち残事業分	76億円	1億円	2億円	79億円

結 果

費用便益比 (事業全体)	4.0
費用便益比 (残事業)	2.3

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名：坂出・丸亀バイパス（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 20.4km	交通量	[台/日]	17,800	33,500	
	走行時間	[分]	1	28	
	走行時間費用	[億円/年]	6	249	
②主な周辺道路	現道(国道11号) : 19.6km	交通量	[台/日]	15,300	10,500
		走行時間	[分]	48	41
		走行時間費用	[億円/年]	201	112
	一) 岡田丸亀線 : 1.9km	交通量	[台/日]	11,200	3,000
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	33	9
	主) 丸亀詫間豊浜線 : 1.7km	交通量	[台/日]	16,800	6,000
		走行時間	[分]	5	3
		走行時間費用	[億円/年]	22	5
	主) 善通寺府中線 : 6.6km	交通量	[台/日]	14,900	8,700
		走行時間	[分]	12	10
		走行時間費用	[億円/年]	45	23
③その他道路合計 : 1807.4km	走行時間費用	[億円/年]	5368	5025	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1857.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5676	5423	252

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：坂出・丸亀バイパス（事業全体）



交通状況の変化

事業名：坂出・丸亀バイパス(残時業)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 20.4km	交通量	[台/日]	32,700	33,500	
	走行時間	[分]	28	28	
	走行時間費用	[億円/年]	247	249	
②主な周辺道路	現道(国道11号) : 19.6km	交通量	[台/日]	10,200	10,500
		走行時間	[分]	41	41
		走行時間費用	[億円/年]	109	112
	一) 岡田丸亀線 : 1.9km	交通量	[台/日]	3,000	3,000
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	9	9
	主) 丸亀詫間豊浜線 : 1.7km	交通量	[台/日]	6,100	6,000
		走行時間	[分]	3	3
		走行時間費用	[億円/年]	5	5
	主) 善通寺府中線 : 6.6km	交通量	[台/日]	8,600	8,700
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	22	23
③その他道路合計 : 1807.4km	走行時間費用	[億円/年]	5035	5025	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1857.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	5428	5423	4

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：坂出・丸亀バイパス（残事業）



費用便益分析の条件

事業名：一般国道11号 坂出・丸亀バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	
	その他	
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成17年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	(平成42年)
	複数時点での推計	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	有 無
	整備の有無のいずれかのみ推計	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	(H11センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
	その他()	
開発交通量の考慮	無	
	有	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q - V式を用いた配分	
	転換率式を用いた配分	
	Q - V式と転換率式の併用による配分	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
	簡易手法	
	簡易手法の場合	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
速度設定の考え方	その他の()	
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	
	採用理由を記載 最終配分速度を適用した場合、「整備なし」のケースにおいて、交通量がQmaxをわずかに超えることで速度がVminとなり、「整備あり」のケースとの速度差が非常に大きくなるために、便益が過大に生じるリンクが存在した。今回実施した費用便益分析では、上記のような便益の過大推計を回避するために加重平均速度を用いた。	
	最終配分の速度	
	採用理由を記載	
	その他()	

費用の現在価値算定表

〔事業全体〕

箇所名：一般国道11号 坂出・丸亀バイパス

維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(補助)		
単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
0.27	20.4	5.5

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
- 38年目	S 46	3.7943	0	1	0	0
- 37年目	S 47	3.6484	1	3	0	0
- 36年目	S 48	3.5081	6	21	0	0
- 35年目	S 49	3.3731	9	31	0	0
- 34年目	S 50	3.2434	13	42	0	0
- 33年目	S 51	3.1187	19	58	0	0
- 32年目	S 52	2.9987	26	77	0	0
- 31年目	S 53	2.8834	50	143	0	0
- 30年目	S 54	2.7725	49	135	0	0
- 29年目	S 55	2.6658	33	87	0	0
- 28年目	S 56	2.5633	29	73	0	0
- 27年目	S 57	2.4647	16	40	0	0
- 26年目	S 58	2.3699	13	31	0	0
- 25年目	S 59	2.2788	5	11	0	0
- 24年目	S 60	2.1911	23	50	0	0
- 23年目	S 61	2.1068	31	65	0	0
- 22年目	S 62	2.0258	34	68	0	0
- 21年目	S 63	1.9479	3	5	0	0
- 20年目	H 1	1.8730	2	4	0	0
- 19年目	H 2	1.8009	0	0	0	0
- 18年目	H 3	1.7317	0	0	0	0
- 17年目	H 4	1.6651	7	11	0	0
- 16年目	H 5	1.6010	2	3	0	0
- 15年目	H 6	1.5395	2	2	0	0
- 14年目	H 7	1.4802	4	6	0	0
- 13年目	H 8	1.4233	2	3	0	0
- 12年目	H 9	1.3686	10	14	0	0
- 11年目	H 10	1.3159	14	18	0	0
- 10年目	H 11	1.2653	7	9	0	0
- 9年目	H 12	1.2167	11	13	0	0
- 8年目	H 13	1.1699	23	27	0	0
- 7年目	H 14	1.1249	15	17	0	0
- 6年目	H 15	1.0816	17	19	0	0
- 5年目	H 16	1.0400	21	21	0	0
- 4年目	H 17	1.0000	10	10	0	0
- 3年目	H 18	0.9615	10	9	0	0
- 2年目	H 19	0.9246	7	7	0	0
- 1年目	H 20	0.8890	7	6	0	0
供用開始年次	H 21	0.8548	0	0	5	4
1年目	H 22	0.8219	0	0	5	4
2年目	H 23	0.7903	0	0	5	4
3年目	H 24	0.7599	0	0	5	4
4年目	H 25	0.7307	0	0	5	4
5年目	H 26	0.7026	0	0	5	4
6年目	H 27	0.6756	0	0	5	4
7年目	H 28	0.6496	0	0	5	3
8年目	H 29	0.6246	0	0	5	3
9年目	H 30	0.6006	0	0	5	3
10年目	H 31	0.5775	0	0	5	3
11年目	H 32	0.5553	0	0	5	3
12年目	H 33	0.5339	0	0	5	3
13年目	H 34	0.5134	0	0	5	3
14年目	H 35	0.4936	0	0	5	3
15年目	H 36	0.4746	0	0	5	2
16年目	H 37	0.4564	0	0	5	2
17年目	H 38	0.4388	0	0	5	2
18年目	H 39	0.4220	0	0	5	2
19年目	H 40	0.4057	0	0	5	2
20年目	H 41	0.3901	0	0	5	2
21年目	H 42	0.3751	0	0	5	2
22年目	H 43	0.3607	0	0	5	2
23年目	H 44	0.3468	0	0	5	2
24年目	H 45	0.3335	0	0	5	2
25年目	H 46	0.3207	0	0	5	2
26年目	H 47	0.3083	0	0	5	2
27年目	H 48	0.2965	0	0	5	2
28年目	H 49	0.2851	0	0	5	2
29年目	H 50	0.2741	0	0	5	1
30年目	H 51	0.2636	0	0	5	1
31年目	H 52	0.2534	0	0	5	1
32年目	H 53	0.2437	0	0	5	1
33年目	H 54	0.2343	0	0	5	1
34年目	H 55	0.2253	0	0	5	1
35年目	H 56	0.2166	0	0	5	1
36年目	H 57	0.2083	0	0	5	1
37年目	H 58	0.2003	0	0	5	1
38年目	H 59	0.1926	0	0	5	1
39年目	H 60	0.1852	-151	-28	5	1
合計			376	1,114	210	92
単純事業費計			527		210	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

費用の現在価値算定表

[残事業]

箇所名: 一般国道11号 坂出・丸亀バイパス

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(補助)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	0.8	0.2

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
- 4年目	H 17	1.0000	10	10	0	0
- 3年目	H 18	0.9615	10	9	0	0
- 2年目	H 19	0.9246	7	7	0	0
- 1年目	H 20	0.8890	7	6	0	0
供用開始年次	H 21	0.8548	0	0	0	0
1年目	H 22	0.8219	0	0	0	0
2年目	H 23	0.7903	0	0	0	0
3年目	H 24	0.7599	0	0	0	0
4年目	H 25	0.7307	0	0	0	0
5年目	H 26	0.7026	0	0	0	0
6年目	H 27	0.6756	0	0	0	0
7年目	H 28	0.6496	0	0	0	0
8年目	H 29	0.6246	0	0	0	0
9年目	H 30	0.6006	0	0	0	0
10年目	H 31	0.5775	0	0	0	0
11年目	H 32	0.5553	0	0	0	0
12年目	H 33	0.5339	0	0	0	0
13年目	H 34	0.5134	0	0	0	0
14年目	H 35	0.4936	0	0	0	0
15年目	H 36	0.4746	0	0	0	0
16年目	H 37	0.4564	0	0	0	0
17年目	H 38	0.4388	0	0	0	0
18年目	H 39	0.4220	0	0	0	0
19年目	H 40	0.4057	0	0	0	0
20年目	H 41	0.3901	0	0	0	0
21年目	H 42	0.3751	0	0	0	0
22年目	H 43	0.3607	0	0	0	0
23年目	H 44	0.3468	0	0	0	0
24年目	H 45	0.3335	0	0	0	0
25年目	H 46	0.3207	0	0	0	0
26年目	H 47	0.3083	0	0	0	0
27年目	H 48	0.2965	0	0	0	0
28年目	H 49	0.2851	0	0	0	0
29年目	H 50	0.2741	0	0	0	0
30年目	H 51	0.2636	0	0	0	0
31年目	H 52	0.2534	0	0	0	0
32年目	H 53	0.2437	0	0	0	0
33年目	H 54	0.2343	0	0	0	0
34年目	H 55	0.2253	0	0	0	0
35年目	H 56	0.2166	0	0	0	0
36年目	H 57	0.2083	0	0	0	0
37年目	H 58	0.2003	0	0	0	0
38年目	H 59	0.1926	0	0	0	0
39年目	H 60	0.1852	-5	-1	0	0
合計			29	31	8	4
単純事業費計			34		8	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

〔事業全体〕

箇所名：一般国道11号 坂出・丸亀バイパス

年次	年度 (基準年) H 17	総走行台数の年次別伸び率 (四国7ロツク)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A)×	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%	
																					乗用車
供用開始年次	H 21	1.00962	0.99431	1.00460	0.8548	189	0	33	28	250	214	10	0	4	3	16	14	5	4	272	232
1年目	H 22	1.00953	0.99427	1.00458	0.8219	191	0	33	28	252	207	10	0	4	3	17	14	5	4	273	225
2年目	H 23	1.00451	0.99589	1.00174	0.7903	192	0	33	28	252	199	10	0	4	3	17	13	5	4	274	217
3年目	H 24	1.00449	0.99587	1.00173	0.7599	192	0	33	28	253	192	10	0	4	3	17	13	5	4	275	209
4年目	H 25	1.00447	0.99585	1.00173	0.7307	193	0	32	28	254	185	10	0	4	3	17	12	5	4	275	201
5年目	H 26	1.00445	0.99583	1.00173	0.7026	194	0	32	28	254	179	10	0	3	3	17	12	5	4	276	194
6年目	H 27	1.00443	0.99582	1.00173	0.6756	195	0	32	28	255	172	10	0	3	3	17	11	5	4	277	187
7年目	H 28	1.00441	0.99580	1.00172	0.6496	196	0	32	28	255	166	10	0	3	3	17	11	5	3	277	180
8年目	H 29	1.00439	0.99578	1.00172	0.6246	197	0	32	28	256	160	10	0	3	3	17	10	5	3	278	174
9年目	H 30	1.00437	0.99576	1.00172	0.6006	198	0	32	27	257	154	10	0	3	3	17	10	5	3	279	167
10年目	H 31	1.00435	0.99574	1.00171	0.5775	198	0	32	27	257	149	10	0	3	3	17	10	5	3	279	161
11年目	H 32	1.00433	0.99573	1.00171	0.5553	199	0	31	27	258	143	10	0	3	3	17	9	5	3	280	155
12年目	H 33	0.99893	0.99384	0.99739	0.5339	199	0	31	27	257	137	10	0	3	3	17	9	5	3	279	149
13年目	H 34	0.99893	0.99380	0.99738	0.5134	199	0	31	27	257	132	10	0	3	3	17	9	5	3	279	143
14年目	H 35	0.99893	0.99376	0.99738	0.4936	199	0	31	27	256	126	10	0	3	3	17	8	5	3	278	137
15年目	H 36	0.99893	0.99372	0.99737	0.4746	198	0	31	26	256	121	10	0	3	3	16	8	5	2	277	132
16年目	H 37	0.99893	0.99368	0.99736	0.4564	198	0	31	26	255	116	10	0	3	3	16	8	5	2	277	126
17年目	H 38	0.99893	0.99364	0.99736	0.4388	198	0	30	26	254	112	10	0	3	3	16	7	5	2	276	121
18年目	H 39	0.99893	0.99360	0.99735	0.4220	198	0	30	26	254	107	10	0	3	3	16	7	5	2	275	116
19年目	H 40	0.99892	0.99356	0.99734	0.4057	198	0	30	26	253	103	10	0	3	3	16	7	5	2	275	111
20年目	H 41	0.99892	0.99352	0.99734	0.3901	197	0	30	26	253	99	10	0	3	3	16	6	5	2	274	107
21年目	H 42	0.99892	0.99348	0.99733	0.3751	197	0	30	25	252	95	10	0	3	3	16	6	5	2	273	103
22年目	H 43	0.99686	0.99447	0.99616	0.3607	196	0	29	25	251	91	10	0	3	3	16	6	5	2	272	98
23年目	H 44	0.99685	0.99444	0.99615	0.3468	196	0	29	25	250	87	10	0	3	3	16	6	5	2	271	94
24年目	H 45	0.99684	0.99441	0.99613	0.3335	195	0	29	25	249	83	10	0	3	3	16	5	5	2	270	90
25年目	H 46	0.99683	0.99438	0.99612	0.3207	195	0	29	25	248	80	10	0	3	3	16	5	5	2	269	86
26年目	H 47	0.99682	0.99435	0.99610	0.3083	194	0	29	25	248	76	10	0	3	3	16	5	5	2	268	83
27年目	H 48	0.99680	0.99432	0.99609	0.2965	193	0	29	25	247	73	10	0	3	3	16	5	5	1	267	79
28年目	H 49	0.99679	0.99428	0.99607	0.2851	193	0	28	24	246	70	10	0	3	3	16	4	5	1	266	76
29年目	H 50	0.99678	0.99425	0.99605	0.2741	192	0	28	24	245	67	10	0	3	3	16	4	5	1	265	73
30年目	H 51	0.99677	0.99422	0.99604	0.2636	192	0	28	24	244	64	10	0	3	2	16	4	5	1	264	70
31年目	H 52	0.99676	0.99418	0.99602	0.2534	191	0	28	24	243	62	10	0	3	2	16	4	5	1	263	67
32年目	H 53	0.99591	0.99645	0.99607	0.2437	190	0	28	24	242	59	10	0	3	2	15	4	5	1	262	64
33年目	H 54	0.99589	0.99644	0.99605	0.2343	189	0	28	24	241	56	10	0	3	2	15	4	5	1	261	61
34年目	H 55	0.99588	0.99643	0.99603	0.2253	189	0	28	24	240	54	10	0	3	2	15	3	5	1	260	59
35年目	H 56	0.99586	0.99642	0.99602	0.2166	188	0	28	24	239	52	10	0	3	2	15	3	5	1	259	56
36年目	H 57	0.99584	0.99640	0.99600	0.2083	187	0	27	24	238	50	10	0	3	2	15	3	5	1	258	54
37年目	H 58	0.99582	0.99639	0.99599	0.2003	186	0	27	24	237	47	10	0	3	2	15	3	5	1	257	52
38年目	H 59	0.99581	0.99638	0.99597	0.1926	185	0	27	23	236	45	10	0	3	2	15	3	5	1	256	49
39年目	H 60	0.99579	0.99636	0.99595	0.1852	185	0	27	23	235	44	10	0	3	2	15	3	5	1	255	47
合計						7,750	0	1,197	1,032	9,980	4,429	408	0	129	107	644	287	204	91	10,828	4,806

便益の現在価値算定表

[残事業]

箇所名：一般国道11号 坂出・丸亀バイパス

年次	年度 (基準年) H 17	総走行台数の年次別伸び率 (四国7ロツク)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%
		乗用車	貨物車	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 21	1.00962	0.99431	1.00460	0.8548	3	0	1	1	4	4	0	0	0	0	0	0	0	4	4
1年目	H 22	1.00953	0.99427	1.00458	0.8219	3	0	1	1	4	4	0	0	0	0	0	0	0	5	4
2年目	H 23	1.00451	0.99589	1.00174	0.7903	3	0	1	1	4	3	0	0	0	0	0	0	5	4	
3年目	H 24	1.00449	0.99587	1.00173	0.7599	3	0	1	1	4	3	0	0	0	0	0	0	5	3	
4年目	H 25	1.00447	0.99585	1.00173	0.7307	3	0	1	1	4	3	0	0	0	0	0	0	5	3	
5年目	H 26	1.00445	0.99583	1.00173	0.7026	3	0	1	1	4	3	0	0	0	0	0	0	5	3	
6年目	H 27	1.00443	0.99582	1.00173	0.6756	3	0	1	1	4	3	0	0	0	0	0	0	5	3	
7年目	H 28	1.00441	0.99580	1.00172	0.6496	3	0	1	1	4	3	0	0	0	0	0	0	5	3	
8年目	H 29	1.00439	0.99578	1.00172	0.6246	3	0	1	1	4	3	0	0	0	0	0	0	5	3	
9年目	H 30	1.00437	0.99576	1.00172	0.6006	3	0	1	1	4	3	0	0	0	0	0	0	5	3	
10年目	H 31	1.00435	0.99574	1.00171	0.5775	3	0	1	1	4	3	0	0	0	0	0	0	5	3	
11年目	H 32	1.00433	0.99573	1.00171	0.5553	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	5	3	
12年目	H 33	0.99893	0.99384	0.99739	0.5339	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	5	2	
13年目	H 34	0.99893	0.99380	0.99738	0.5134	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	5	2	
14年目	H 35	0.99893	0.99376	0.99738	0.4936	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	5	2	
15年目	H 36	0.99893	0.99372	0.99737	0.4746	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	5	2	
16年目	H 37	0.99893	0.99368	0.99736	0.4564	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	5	2	
17年目	H 38	0.99893	0.99364	0.99736	0.4388	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	5	2	
18年目	H 39	0.99893	0.99360	0.99735	0.4220	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	4	2	
19年目	H 40	0.99892	0.99356	0.99734	0.4057	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	4	2	
20年目	H 41	0.99892	0.99352	0.99734	0.3901	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	4	2	
21年目	H 42	0.99892	0.99348	0.99733	0.3751	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	4	2	
22年目	H 43	0.99686	0.99447	0.99616	0.3607	3	0	1	1	4	2	0	0	0	0	0	0	4	2	
23年目	H 44	0.99685	0.99444	0.99615	0.3468	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	2	
24年目	H 45	0.99684	0.99441	0.99613	0.3335	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
25年目	H 46	0.99683	0.99438	0.99612	0.3207	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
26年目	H 47	0.99682	0.99435	0.99610	0.3083	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
27年目	H 48	0.99680	0.99432	0.99609	0.2965	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
28年目	H 49	0.99679	0.99428	0.99607	0.2851	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
29年目	H 50	0.99678	0.99425	0.99605	0.2741	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
30年目	H 51	0.99677	0.99422	0.99604	0.2636	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
31年目	H 52	0.99676	0.99418	0.99602	0.2534	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
32年目	H 53	0.99591	0.99645	0.99607	0.2437	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
33年目	H 54	0.99589	0.99644	0.99605	0.2343	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
34年目	H 55	0.99588	0.99643	0.99603	0.2253	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
35年目	H 56	0.99586	0.99642	0.99602	0.2166	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
36年目	H 57	0.99584	0.99640	0.99600	0.2083	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
37年目	H 58	0.99582	0.99639	0.99599	0.2003	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
38年目	H 59	0.99581	0.99638	0.99597	0.1926	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
39年目	H 60	0.99579	0.99636	0.99595	0.1852	3	0	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	
合計						122	0	27	22	171	76	0	0	2	0	2	1	177	79	